

(様式3)

令和3年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	邑南町	公民館等の名称	高原公民館
------	-----	---------	-------

事業の目的	<p>○小中学生及びその保護者世代の公民館事業の参加拡大により、今後の公民館活動のより一層の充実を図る。</p> <p>○地域の拠点として幅広い世代に公民館を利用してもらうためのきっかけを作る。</p>
事業の内容	<p>○ターゲットとする世代 小中学生の保護者世代（30～40代）</p> <p>○地域の状況やターゲットとした理由</p> <p>高原公民館のある高原地域は人口800人で高齢化率が46.18%である。公民館事業へは、大規模事業（公民館まつり、演奏会）へは幅広い世代への参加があるが、一つ一つの小さな事業となると、特に小中学生の保護者世代（30～40代）の参加が際立って低い状況である。</p> <p>公民館事業の計画、運営を行う公民館活動推進協議会内の4つの部でも何年にもわたって同じ人が役を担っている状況でもあり、次世代に向かっての公民館活動の継続、発展には保護者世代の参画が必要となってくる。いきなり役を担うようにするのではなく、徐々に公民館に関わっていく形を作るため、今回の事業を一つきっかけになるように狙う。</p>
	<p>○事業の内容（日時、場所、参加者数、具体的な活動）を具体的にご記載ください。</p> <p>たかはらキャンプスクール（全4回）</p> <p>第1回（10/24）テーマ：火おこし 参加人数：大人9名 子ども8名</p> <p>マッチやライターを使用せずに火起こしにチャレンジ。麻紐とファイアスターターを使用し、火種から焚き火にする方法を学んだ。</p> <p>第2回（10/31）テーマ：テント設営 参加人数：大人11名 子ども13名</p> <p>5人用の大きいテントを複数人で協力して設営。設営方法だけではなく、設営場所の決め方や設営時の注意点などについて学んだ。</p> <p>第3回（11/7）テーマ：野外調理 参加人数：9名 子ども9名</p> <p>第1回目の火起こしのおさらいから、起こした火で調理するまでを各組で考えながら実施。野外調理時に使用する道具やコツについて説明もし、学んだ。</p> <p>第4回（11/13-14）テーマ：キャンプ実践 参加人数：大人4名 子ども5名</p> <p>第1～3回の学びすべてを活かして実践キャンプを行った。</p> <p>地域づくり活動を行っている地区別戦略発展事業（ちくせん）団体である高原を楽しくする会との共同開催で実施。第1回から段階的に内容のステップアップをしていくように事業計画を作成、各回でそれぞれできたこと、もう少し頑張りたいことをヒアリングし、適宜内容の変更、修正を行った。中でも火起こしに関しては野外炊飯の時におさらいも兼ねた形にして実施（使用する材料、道具についていろんな種類のもを用意、安全に火起こしをするにはどうするか、というクイズのような形でおさらい）。</p> <p>また、第1～3回目での学びを実践する場として4回目にキャンプ実践を行った。これまで</p>



はインストラクターが説明→やってみる、という形でやっていたが、第4回目では参加者自身が一から準備等を行っていく形で実施。テント設営から火起こし、野外調理等の準備はこれまでの学びを活かして自分で考え、試行錯誤しながらも実践することができた。



○期待する成果・効果

- ・公民館でどんな体験ができるのか、どんな事業をしているのかを知り、体験してもらうことで公民館に関わることの楽しさを感じてもらう。
- ・事業後半で、最終回の内容を一緒に考える時間を設けることで、公民館活動に関わる体験ができ、関わることの楽しさを感じてもらう。この楽しい体験から、次回以降への参画につなげていく。

○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見通しなどをご記載ください。

成果と課題
今後の見通し

- ・今回の事業参加者はあまり公民館事業に参加したことない方がほとんどだったため、今回をきっかけに公民館への関わりを増やすことが期待できる。
- ・地域の団体と共同開催をすることで、公民館と団体の連携する流れを作ることができ、今後の公民館活動へ継続して関わっていくことが期待できる。
- ・第4回目の実践に際して、準備や内容の構築等を参加者主体で行ってもらったが、当初意図していた公民館活動に関わる体験への結び付けが少なかったため、今後の事業実施時に織り込めるよう検討していく必要がある。
- ・今回は公民館周辺での実施としたが、地区内のほかの場所でも実施することで地域学習等にもつなげていくことができるので、検討していく必要がある。
- ・今回、キャンプに関わる道具を充実することができたので、公民館活動でキャンプを通じた自然学習、防災学習、地域学習、地区内交流と様々な領域につなげていきたい。